

Vol.102

Vol.102 (2025年 春号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM 事例・知識 ... 3

Stakeholders / 法人スポンサー紹介 6

PM Calendar / PM カレンダー 9

Fact Database / データベース 10

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆委員会・部会活動内容紹介 3
 - ・「ケースメソッド実践ガイド」 法人スポンサー社員向けの公開
法人スポンサー・プログラム ケースメソッドスタディ・グループ 翠川 賢太郎
 - ・「はじめてのプロジェクトマネジメント研究会」立ち上げ
PMI日本支部 副会長 森田 公至

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

- ・株式会社ピーエスシー (PSC) 6

PM Calendar / PM カレンダー 9

- ・PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース 10

PMI日本支部ニュースレター Vol.102 2025年3月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。

「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

委員会・部会活動内容紹介

■「ケースメソッド実践ガイド」 法人スポンサー社員向けの公開

法人スポンサー・プログラム ケースメソッドスタディ・グループ 翠川 賢太郎

法人スポンサー・プログラムのケースメソッドスタディ・グループで研究・検討してきた、「ケースメソッド実践ガイド」が完成しました。

これまでの研究で得られた成果である、「知見や経験」、「有効な手段」、「実績データ」をガイド化したものです。

ケースメソッドを各社や各組織での実際の人材育成に役立てていただきたいとの思いから、この度、法人スポンサー企業社員の方々向けに公開させていただくこととしました。

ぜひ、実際の人材育成に役立てていただければ幸いです。

◆ ケースメソッド実践ガイドとは？

「ケースメソッド実践ガイド」とは、日本支部 ケースメソッドスタディ・グループが作成したPM人材を含めた企業のあらゆる人材育成に向けたケースメソッドの効果的な活用方法を提供するガイドです。

◆ ケースメソッドとは？

ケースメソッドは、実際の事例（ケース）をもとに参加者が議論し、問題解決の方法を探る教育手法です。ハーバード・ビジネス・スクールで実施したことが始まりとされ、今では多くの教育機関や企業研修で活用されています。理論だけでなく実践的な能力を養うことができます。

◆ 本ガイドの特徴

「ケースメソッド実践ガイド」は、ケースメソッドを導入・実践するための具体的な方法を解説した実践書です。企業の人材育成担当などケースメソッドの企画に携わる方に向けて、効果的な事例の収集方法やケース／設問の作成方法、研修の運営などについてわかりやすく説明しています。

◆ 実践ガイドの主な内容

1. 概要

- 1-1. なぜ、いまケースメソッドなのか
- 1-2. ケースメソッドとは
- 1-3. ケースメソッドフレームワーク

2. 概要

- 2-1. 目的の明確化
- 2-2. 事例の収集
- 2-3. ケースの作成

3. 運営

- 3-1. 研修の実施
- 3-2. 研修評価【参加者】
- 3-3. 研修の振り返り【運営】
- 3-4. ファシリテータ育成のポイント

◆ こんな方におすすめ

- ・PM 候補人材
- ・企業のマネジャーやリーダー候補人材
- ・プロジェクトメンバー（振り返りなどに活用）

◆ ケースメソッドの活用効果

ケースメソッドを活用することで、参加者は「自ら考え、議論を通じて問題解決能力の向上、批判的思考の養成、他者経験の獲得」などさまざまな知識や経験を獲得することができます。これにより、単なる知識習得ではなく、実際のプロジェクトやビジネス・教育現場で活かせるスキルを身に付けることができます。

本ガイドは、新人からシニア層まで幅広く活用できる実践的なガイドとなっています。ケースメソッドを取り入れたい方は、是非本ガイドを参考にしてケースメソッドを実践してみてください。

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

■委員会・部会活動内容紹介

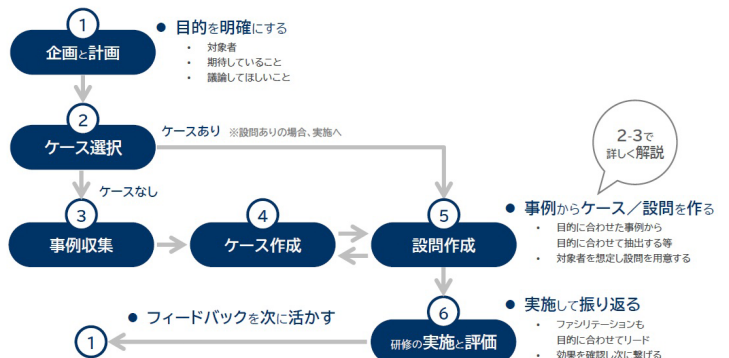
ケースメソッド実践ガイド

第1.0版
PMI日本支部
ケースメソッドスタディグループ



1. 概要

1-3. ケースメソッドのフレームワーク



19

Copyright © PMI Japan Chapter. All Rights Reserved.

2. 導入

2-3. ケースの作成

● ケースとは？ | リスク管理をテーマにしたサンプル

ケース	設問
● あなたは、DX推進プロジェクトのアジャイルチームメンバーに任命された。あなたのチームが主管であり、本部を跨いで複数の部署に作業を依頼する必要がある。役員からプロジェクトの決められた成果を半年以内に達成するように要求されていた。スケジュールを立てると、パッパは約3週間ほどだった。	設問 1 - あなたははしひらさんはどういう気持ちになっていますか - あなたの業務はどういう影響を受けると考えますか
● プロジェクトが承認されて2ヶ月後に、同じチームの後輩社員、はしひらさんが参画することになった。はしひらさんは会議で自分の考えを積極的に発言し、自分自身の作業は期限通りに業務をこなすことが出来る。	設問 2 - このままいくとプロジェクトはどうなると思いますか - このプロジェクトはどうあるべきでしょうか
● プロジェクトを開始してから3ヶ月後、はしひらさんが担当していた5つの部署への重要な作業依頼で、期限を1週間過ぎて、3つの部署から完了の連絡が無いことを確認した。すべての部署の作業が完了しないとあなたも含めて、チームは次の工程には進めない。はしひらさんに確認したところ、「他の業務が忙しいから、まだ手つかずでこれから作業する」との回答だけもらって待っているということだった。	設問 3 あなたはこれからどんな行動を取るべきでしょうか

3. 運営

3-1. 研修の実施

① 研修構成の事例 | 企画の目的、タイムテーブル、チーム編成など

■ 企画の目的

- 研修実施の背景を整理
- 対象者の属性を明らかに
- 目指す目標をクリアに

- 背景 | トラブル事例が組織に浸透しない
- 対象 | 経験の少ない初級PM
- 目標 | リスクマネジメント力の向上

■ タイムテーブル

- 時間帯と時間を調整
- 2時間30分をベース

■ グループ編成

- 原則 ▶ 4名 | 3~4グループ ▶ 16名程度
 - 最大 ▶ 5名 | 5グループ ▶ 25名まで
- ※ NG ▶ 6名以上、3名以下
理由 | ディスカッションの質が下がる傾向

■ 役割

- リーダー | ファシリテーション担当
- 発表者、書記、タイムキーパー

項目	概要	時間
進め方	ワークショップの目的、進め方と流れ、自ら学ぶ等ケースメソッドの考え	15分
全体説明	グループ討議の進め方、役割決めや時間割等、ケースの説明	15分
グループ討議	考える、気付け、発言、共感...	60分
全体共有 討議	発表、質疑、新たに気付け...	30分
振り返り	アンケート 何に気付いて、今後、どう活かしていくのか等	15分

47

Copyright © PMI Japan Chapter. All Rights Reserved.

■「はじめてのプロジェクトマネジメント研究会」立ち上げ

PMI 日本支部 副会長 森田 公至

日本支部は、新たに「はじめてのプロジェクトマネジメント研究会」（略称：はじめてのPM研究会）を立ち上げました。

この研究会は、プロジェクトマネジメントの初心者や若手の方々を対象にしており、気軽に参加できる環境を提供することを目的としています。2024年5月に若手リーダーシップミーティングを開催して、その中で新規の研究会設立が提起されました。その後、設立検討ワーキングメンバーを募り、立ち上げに関して半年をかけて議論してきました。若手の有志によるボトムアップでの新しい研究会の立ち上げは日本支部として初めてのチャレンジでしたが、2024年11月の理事会で承認され、2025年2月に71名での設立にこぎつきました。半数以上が40歳以下で大学生の参加者も含まれる、今までにない若手主導の研究会です。

◆立ち上げの目的

本研究会の主な目的は、プロジェクトマネジメントの基礎知識を学ぶ場を提供し、参加者同士のネットワークを広げることです。特に、初心者が抱える不安や疑問を解消し、自信を持ってプロジェクトに取り組めるような支援を支部として行います。

◆参加者への期待

参加者には、実際のプロジェクトでの経験を通じて学び合い、互いに成長できる機会が提供されます。また、定期的なミーティングやワークショップを通じて、情報交換や問題解決の場を設けます。このような場を通じて、プロジェクトマネジメントの技術や考え方を実践的に学ぶことが期待されています。

この研究会は、プロジェクトマネジメントに興味を持つ初心者だけでなく、知識を深めたい現役の若手プロジェクトマネジャーにも有益な情報交換の場となるでしょう。このようにして、日本支部は、プロジェクトマネジメントの普及と発展を目指しています。

◆研究会の概要

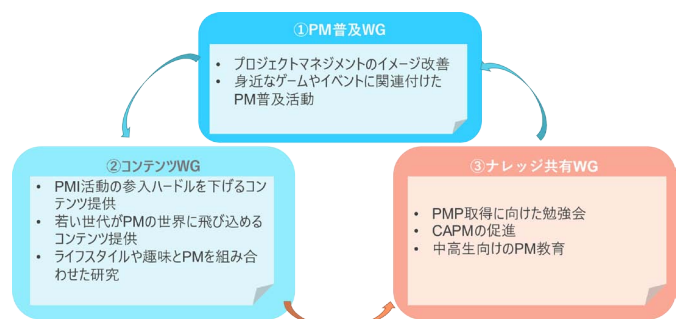
本研究会は、プロジェクトマネジメントを学び始めたばかりの初心者や、キャリア形成を目指す20代・30代や学生を含む若手など、多様なバックグラウンドを持つ参加者が対象です。

活動の一環として、研究会では月に1回のペースで会合が開催され、主にオンラインで行われます。オフラインイベントも年に数回開催する予定です。

参加者は、プロジェクトマネジメントの資格取得やプロジェクトに役立つ知識を深めることができ、同じ目標を持つ仲間との情報共有を通じて、励まし合いながら成長することが期待されています。また、参加後は、他の研究会への参加や新たに研究会を立ち上げる機会も提供されるため、さらなるキャリアアップが促進されます。

◆ワーキングの活動内容

①PM普及活動 ②コンテンツ提供 ③ナレッジ共有 という大きく3つのWGを設け、お互いのWGの結果を月例定例会等でフィードバックし、サイクルを回して継続的に活動を行っていく予定です。



Stakeholders / 法人スポンサー紹介

株式会社ピーエスシー (PSC)



株式会社ピーエスシー

PSC = Power Staff Communications.

株式会社ピーエスシー (PSC) は、1996年設立の東京都港区に本社を構える独立系IT企業です。創業以来、ICTサービス全般の企画・設計・開発から構築・導入、運用・保守までワンストップで提供して参りました。企業理念として「技術力と人間力でお客様の3S (成功Success, 満足Satisfaction, 笑顔Smile)を実現する」を掲げ、常にお客様に寄り添ったサービスを提供しています。

PSCの強みは、その技術力と柔軟な対応力にあります。最新の技術を駆使し、顧客のニーズに合わせたカスタマイズサービスを提供することで競争力を維持しています。また、他のシステムインテグレーターの皆様とのパートナーシップを大切に、企業間のコラボレーションによる付加価値を創出しています。

<https://www.psc-inc.co.jp/>

◆ お客様のDXを支える

PSC SERVICE PLATFORM



PSCはお客様のDX化をご支援するため、多岐にわたるICTサービスをPSC SERVICE PLATFORMとしてトータルでご提供しています。ここではPSC SERVICE PLATFORMを構成する主なサービスをご紹介します。

● AIソリューション

Microsoft 365 CopilotやAzure OpenAI Serviceを中心とするAI技術を活用した業務効率化とデータ分析を提供。PSCは、AIソリューションの導入から運用までをサポートし、お客様のビジネスに革新をもたらします。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/ai/>

● Coo Kai

PSCの独自プロダクトであるMicrosoft 365アドオンアプリの「Coo Kai」は、クラウドベースの生産性向上ツールとして、企業の業務効率を飛躍的に向上させることができます。Microsoft 365の機能を最大限に活用し、チームのコラボレーション強化、業務プロセスの最適化に貢献します。Microsoft 365およびCoo Kaiの導入から運用まで一貫したサポートを提供し、ビジネスニーズに応じたカスタマイズサービスを提供します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/cookai/>

● セキュリティ

現代のビジネス環境では、セキュリティ対策が不可欠です。企業の情報資産を守るため、サイバーセキュリティ対策、脆弱性管理、万全なセキュリティ対策を施した自社施設による24時間365日の監視サービス (SOC)、事前事後の統合セキュリティコンサルティングを提供し、脅威からの保護を強化します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/security/>

● クラウドサービス

ハイブリッドクラウド、マルチクラウドの設計・構築・運用を通して、企業のオンプレミス/クラウドにおけるデータ

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社ピーエスシー (PSC)

マネジメントを行います。クラウドサービスの導入から運用までを一貫してサポートし、企業のデータを安全かつ効率的に管理し、ビジネスの成長を支援します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/cloud/>

● エンドポイント管理

リモートワークの普及に伴い、快適で効率的なオフィス環境の構築やエンドポイント管理の重要性が増しています。PSCは自社のセキュアセンターを運営しており、お客様に最適なデバイスのキッティングから出荷・搬送、独自プロダクトである「Perfect Finder」によるエンドポイント管理サービスを提供し、企業のモダンワーク環境の整備をサポートします。

https://www.psc-inc.co.jp/service/endpoint_management/

● アプリケーション

企業のビジネス目標達成を支援するため、システムとアプリケーションの開発を提供しています。データドリブン経営を支えるシステム構築から、業務効率化を実現するカスタマイズアプリケーションの開発まで、幅広いニーズに対応します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/application/>

● ネットワーク

ネットワーク設計構築から運用保守まで、モダンワークに最適なネットワーク環境を提供します。企業のネットワークインフラを現代に合わせて最適化し、安定した運用を実現します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/network/>

● DX オンサイト

オンサイトでお客様に寄り添う DX サポートを提供します。専門のスタッフが現場に常駐し、お客様の DX 推進をサポートします。

https://www.psc-inc.co.jp/service/dx_onsite/

● 教育サービス

リスキリングや資格取得支援など、IT 人材の育成を行っています。急速に進化する IT 業界において、最新の技術と知識を持つ人材の育成は不可欠です。PSC は、企業の成長を支えるための人材育成プログラムを提供しています。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/education/>

● サポート

Microsoft 製品のライセンス最適化、導入移行支援、教育支援、テクニカルサポート、利活用アプリ「Coo Kai」の提供など、全フェーズで包括的なサポートを提供し、企業の生産性向上を支援します。

<https://www.psc-inc.co.jp/service/support/>

PSC はこれらのサービスを通じて、お客様のビジネスの成長と効率化をサポートし、顧客のニーズに応じたカスタマイズサービスを提供することで、多くの企業から高い評価を頂いております。

◆ PSC × プロジェクトマネジメント

PSC は、さまざまなお客様へ安定した品質でのより良いサービス提供を追求しています。そこで鍵となるのは、各プロジェクトを成功に導くためのプロジェクトマネジメントであると考えます。PSC ではプロジェクトの成功を、お客様の本質的な 3S (成功・笑顔・満足) の獲得と捉えています。仕様書通りのアウトプットに固執することなく、お客様のビジネスの成功 (≒ アウトカム) に繋がる形でのプロジェクトのゴールを目指しています。

自らが率先してこのゴールに向かい、さまざまなステークホルダーと連携しながらプロジェクトを推進していく。そんなプロジェクトマネージャーを理想像として、次世代のプロジェクトマネージャーの育成を進めています。

具体的には、シニアプロジェクトマネージャーによる最新のプロジェクトマネジメント手法や過去事例から学ぶ PM 研修や、定期的なプロジェクトレビューを通じて、プロジェクトマネジメントのいろはの伝承に取り組んでいます。直近では、これらの取り組みを推進する専門チーム (PM エクセレ



Stakeholders / 法人スポンサー紹介**■株式会社ピーエスシー（PSC）**

ンスチーム）を立ち上げ、若手PM育成への取り組みを加速させています。

PSCは法人スポンサーとして、PMI日本支部が提供するプロジェクトマネジメントの知識とネットワークを活用し、さらなる成長を目指します。

■株式会社ピーエスシー

各種サービスに関するお問い合わせ

Web : <https://www.psc-inc.co.jp/contact/service/>

Mail : sales@psc-inc.co.jp

TEL : 0120-548-037（フリーダイヤル）

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。

詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー／ワークショップ

● PfMP® 合格者が語る

『ポートフォリオマネジメント』セミナー

- 日時：3月26日(木) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催（6月30日までオンデマンド配信）
- 無料、支部会員限定、PDUなし

● SDGs スタートアップセミナー 2025春

- 日時：3月29日(土) 9:30～12:00
- 形式：リモート開催（4月25日までオンデマンド配信）
- PDUなし

● 4月度 月例セミナー

- 日時：4月19日(土) 10:00～12:00
- 形式：リモート開催（4月27日までオンデマンド配信）
- 2PDU

● 5月度 月例セミナー

- 日時：5月16日(金) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催（5月25日までオンデマンド配信）
- 2PDU

● 支部紹介オリエンテーション

- 日時：3月27日(木) 18:30～20:30
- 形式：リモート開催

● アジャイル基礎

- 日時：4月15日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU

● 地域セミナー 北海道WGからの発信

- 日時：4月19日(土) 18:00～20:30
- 形式：現地開催（札幌市中央区）
- 無料、PDUなし

● ポートフォリオマネジメント実践ワークショップ

- 日時：5月22日(木) 9:30～18:00
- 形式：リモート開催
- 7PDU

■ PMI日本支部関連イベント

● PM Award 2025

- 募集期間：3月3日～5月30日(金)
- 応募説明会：3月27日(木) 17:00～18:00
- 形式：リモート開催

● PMI 日本フォーラム 2025

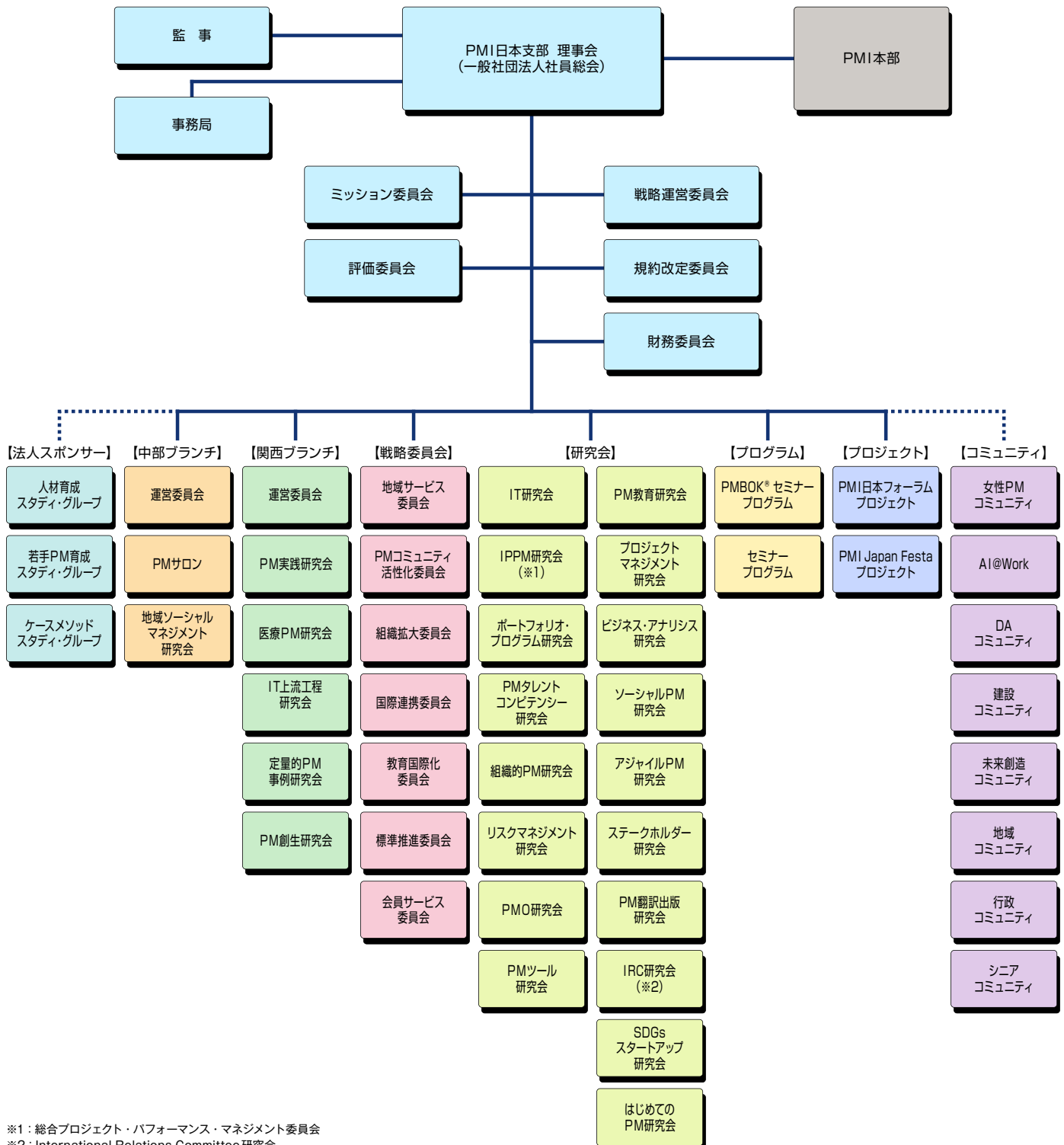
- 会場開催：7月12日(土)
- リアルタイム配信：7月12日(土)～13日(日)
- オンデマンド配信：8月末まで
- オンライン展示募集：3月31日(月)まで

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2025年3月現在)



Fact Database / データベース

■ 理事一覧 (2025年3月現在)

会 長	端 山 毅	株式会社 NTT データグループ
副会長	麻 生 重 樹	日本電気株式会社
副会長	奥 澤 薫	KOLABO
副会長	中 村 亜 子	株式会社パーソル総合研究所
副会長	藤 井 新 吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
副会長	森 田 公 至	DXC テクノロジー・ジャパン株式会社

(以下、五十音順)

理 事	稲 葉 涼 太	TIS 株式会社
理 事	井 上 雅 裕	慶應義塾大学大学院／大正大学／芝浦工業大学
理 事	浦田有佳里	国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所
理 事	小川原陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社
理 事	奥 田 智 洋	株式会社アイ・ティ・イノベーション
理 事	鬼 束 孝 則	Ridgelinez 株式会社
理 事	金子啓一郎	プロジェクト・ピープル・パフォーマンス研究所
理 事	斉 藤 学	スカイライト コンサルティング株式会社
理 事	坂 上 慶 子	株式会社 日立アカデミー
理 事	杉 原 秀 保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理 事	千 葉 昌 幸	株式会社三菱総合研究所
理 事	羽佐間一潮	日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)
理 事	藤 原 慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理 事	松 本 弘 明	株式会社ローソン銀行
理 事	水 井 悦 子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理 事	山 本 智 子	川崎医療福祉大学
理 事	除 村 健 俊	サイバー大学／芝浦工業大学

■ 最新の会員・資格者情報 (2025年1月31日現在)

会員数 (人)	
PMI 本部	日本支部
743,983	6,585

資格保有者数（人）												
PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®	DASM®	DASSM®	DAC®	DAVSC®
世界全体	日本在住											
1,581,319	48,811	8	22	39	529	22	18	690	141	55	17	8

■ 行政スポンサー (2025年3月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市
- 広島県 福山市
- 広島県総務局 県庁情報システム担当

■ 法人スポンサー 一覧 (116社、順不同、2025年3月現在)

- TIS 株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノン I T ソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTT データグループ
- プラネット株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード合同会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- BIPROGY 株式会社
- JBCC 株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研 DCS 株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 三菱電機ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- 株式会社 N T T データ アイ
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社 JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社 SI & C
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社 TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS&A 株式会社
- ロジスティードソリューションズ株式会社
- SCSK 株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPO システムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS&AD システムズ株式会社
- リコージャパン株式会社
- SB テクノロジー株式会社
- 株式会社インテージテクノスフィア
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルート

Fact Database / データベース

- JFE システムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーマ株式会社
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- NEC ソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- 明治安田システム・テクノロジー株式会社
- テルモ株式会社
- TOPPAN エッジ株式会社
- ペルノックス株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- 株式会社ヒューマンテクノシステム
- 株式会社IT プレナーズジャパン・アジアパシフィック
- 富士電機株式会社
- KDDI 株式会社
- フラッグス株式会社
- 株式会社JQ
- 株式会社PE-BANK
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- Smartsheet Japan 株式会社
- アイエックス・ナレッジ株式会社
- AKKODiS コンサルティング株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ CCS
- キンドリルジャパン・テクノロジーサービス株式会社
- ネットワンシステムズ株式会社
- PM アソシエイツ株式会社
- Asana Japan 株式会社
- イノベーションフレームワークテクノロジー・プラニスウェア株式会社
- 株式会社ピーエスシー
- 株式会社ワールドフェイマス
- DXC テクノロジージャパン株式会社
- 株式会社SCC
- テクノシステム株式会社
- INTLOOP 株式会社

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (55 教育機関、順不同、2025年3月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院 芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学 経済科学部
- 北海道大学大学院 情報科学研究科
- 山口大学大学院 技術経営研究科
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 大学院情報科学研究科
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学 産学・地域共創センター
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究センター
- 北海道情報大学
- 山口大学 工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科 および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 飯島研究室
- 就実大学 経営学部 経営学科
- 神戸女子大学 家政学部家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 敷田研究室
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院 イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター
- 岡山大学 教育研究プログラム戦略本部 戦略的プログラム支援ユニット (URA)

Fact Database / データベース

- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 サービスシステムデザイン研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部情報文化学科
- 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部
- 福岡工業大学 情報工学部システムマネジメント学科
- 学校法人 角川ドワンゴ学園 経験学習部
- 第一工科大学 東京上野キャンパス
- 公立大学法人大阪 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
- 東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 森本研究室
- 名古屋工業大学 社会工学科 経営システム分野 瀧口研究室
- 日本経済大学 大学院経営学研究科
- 大正大学